

マイクロプラスチックの恐怖…人も地球もやばい・やばい…

近年マイクロプラスチックの問題が度々取り上げられます。先日もテレビで放映され、えっと、大きな驚きと恐怖を感じました。そこで今回はマイクロプラスチックの問題をお伝えしたいと思います。これが私たちにとっても身近な問題でもあり考えさせられます…

世界でも
使い捨て
プラスチックを
禁止する
動きも加速…

当店も小売りの
野菜など
袋入りがたくさん
考えさせ
られます。



2017年、これまでプラスチックの累計生産量は83億トン。そのうち廃棄されたのは63億トンですが、廃棄されたなかでリサイクルされていないプラスチックは、実に57億トンもあるという研究結果が発表されました。あっと驚くタメゴロウ〜！約90%がリサイクルされていない！

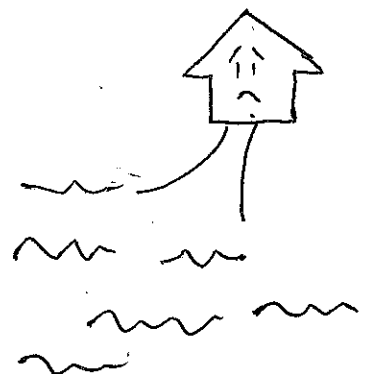
はて・さて、そのプラスチックは何処へ…そこで今・注目されているのが海に流入したプラスチックです。海に流入したプラスチック量の数字ははっきりしていませんが、絶滅危惧種も含めた700種近い海洋生物に影響を与え、毎年多くを死に追いやっていると推定されています。えっ、何でプラスチックがそんなに影響を与えているの？

×-カーから届く荷物にも
パッキングが
たくさん
使われ…



海に大きな影響を与えているプラスチックは「マイクロプラスチック」と呼ばれているその名のごとく小さなプラスチックです。マイクロプラスチックの発生源と疑われているものは複数存在しますが、洗顔料、化粧品などに直接使用するために生産されるマイクロプラスチックや海洋ゴミなどの大きなプラスチック材料が壊れて段々と細かい断片になる結果、環境中に形成されたマイクロプラスチックなどがあります。

また家庭で衣類の洗濯により布からの合成繊維の脱落もマイクロプラスチックが構成される可能性があるとも指摘されています。ここ数十年間の世界のプラスチック消費量の増加により、マイクロプラスチックは全世界の海洋に広く分布するようになり、その量は着実に増大しています。人口密集地から遠い北極海の海氷中에서도確認されています。お〜マイ神様！！

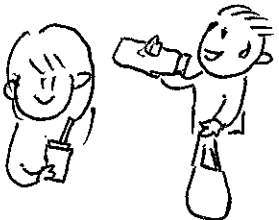


5月にタイの運河で、衰弱したゴンドウクジラのオスが発見され救助されましたが、救助から5日後に死亡しました。解剖の結果、胃の中からは80枚のレジ袋など、8キロ近いプラスチックごみが出てき、これが胃に詰まり、エサを食べられなかったとみられています。



プラスチック 8キロ! レジ袋 80枚!

便利になるほど
増えるプラスチックゴミ。



この事は海を汚染している深刻なプラスチックごみの問題を象徴する出来事だと指摘されています。クジラがプラスチックを食べて死亡する...世界の海には、毎年800万トンを超えるプラスチックごみが流れ出ています。エブリバディー・想像を絶するすごい量ですね...!!

今・海はゴミ捨て場と化しています。このままではマイクロプラスチックは無限に増え、消え去るまでには数百年とかかると考えられています。海に漂うマイクロプラスチックは海の生物の脅威になります。多くの海の生物がプラスチックを餌と区別をつけられずに、誤飲・誤食します。



先日の番組で東京湾のイワシを調べてみると、驚くことなかれ、64匹中49匹から平均3個のマイクロプラスチックが見つかりました。小魚がマイクロプラスチックを取り込むと、それを食べる魚に有害物質が蓄積されます。食物連鎖の中で、有害物質が濃縮されていくと考えられています。な・何というこっちゃい...



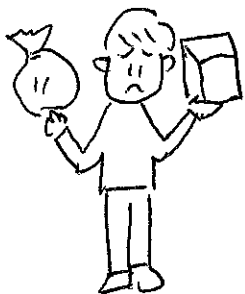
私達は知ってか知らずか、薄々は感じながらか、汚染物質を食べている事になりますが...私達は汚染する者であり、汚染される者でもある...ということになります。マイクロプラスチックは洗顔料などにも含まれています。このままでは人も地球もやばいよ・やばいのでは!

当店もかつて
じゃがいも、
玉ねぎなど
はかり売りを
したのですが



1010年まで
さらにきれいな
ものを選ばれるので
悩ましました。

じゃあ紙ならいいの? と答の難しい話です



今・プラスチック問題は地球規模の問題として様々な国が対策に取り組んでいます。私たちも自分自身の問題として、今できることを考え、実行する必要があるのではと感じています。まずはプラスチック用品はなるべく使わず、プラスチック用品を身の回りから減らすことがすぐに出来る事ではないでしょうか。ナウレッツらトライしましょう!